

私たちの町議会 りくべつ No. 76

発行月日・平成26年4月18日
 編集・議会運営委員会
 発行・北海道陸別町議会

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月11日から17日まで開かれました。今定例会では、専決処分承認を求めることについて1件、平成25年度補正予算案7件、条例案7件、平成26年度予算案7件、議会発議案3件、意見書案1件、その他4件を可決し、閉会しました。

平成26年度 予算総額57億5,377万円

－ 対前年度比11.1%増 給食センター建設工事 約4億700万円計上 －

当初予算質疑から

地域活性化推進事業

（りくべつチャレンジプロジェクト）3千684万円

● 薬用植物研究事業の具体的な内容は、

○ 加工センターの圃場で漢方薬の原料となる植物を試験的に栽培する。

○ 専門家の指導を受けながら、数年かけて陸別の気候・土壌に適合するか、また薬用成分の量が基準を満たすかどうか調査研究し、事業化、起業の可能性を探る。

○ ミネラルウォーターは平成26年度も試験販売にとどまるようだが、4年目をむかえ、町内に雇用の生み出すべく、本来は起業をめざす年度なのではないか。

○ 本格的に事業化するには多額の投資が必要となる。今年度は試験販売を続けながら、ある程度の方角性を出さなければならぬと考えている。

まめ辞典

「砂箱をご利用ください」

凍結した道路のすべり止めのために、坂道の脇などに砂を入れた箱が設置されています。目の前の道路以外に撒くために中の砂を持ち出してもいいのでしょうか？

3月定例会の審議で町から説明がありました。「自主的にすべる箇所には砂を撒いていただくことはとてもありがたいことで、離れた場所の道路や歩道に撒くために使っていただいて構わない。」町民の皆さんが使いやすいように、来冬から移動式の砂箱が設置されます。（役場前、道の駅、小学校付近、3か所の予定）



○ 地域おこし協力隊員について、酪農支援推進員は各種支援制度がある

○ ので新規就農、定住化につながることを期待されるが、果たしてその他の隊員に陸別に定住してもらえないような展望があるのだろうか。

○ そもそも町の指導・サポートが不十分なのではないか。

○ 現職の隊員から意向を聴取しながら、町として協力出来ることはしていきたい。

平成26年度 各会計予算額

会計名	総額	前年度比
一般会計	43億0,651万円	113.6%
特別会計	国保事業勘定	4億2,255万円 97.1%
	国保直診施設勘定	4億1,887万円 103.7%
	簡易水道事業	2億0,382万円 123.9%
	公共下水道事業	1億0,832万円 97.5%
	介護保険事業勘定	2億5,302万円 107.2%
後期高齢者医療	4,068万円	105.9%

当初予算質疑続き

陸別町ホームページのリニューアル420万円

スマートフォンでいつでも情報を見られる世の中になり、ホームページは更新のスピードが大切である。今後の管理体制、更新方法はど

うなるのか。

Q セキュリティに配慮しながら、それぞれの担当課で迅速に更新できるように、ルール作りを進める。

臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金

Q 消費税増税にともなう臨時給付金について、どのような手続きになるのか。

また、お年寄りを狙った詐欺が心配されるが。

A 給付金の対象者は特定できないので、全世帯に申請書を郵送する。

詐欺対策はチラシでの周知の他に、民生委員にも協力をお願いする。

Q 用紙は間違えないよう色分けし、説明にはお年寄りにも分かりやすい言葉を使って欲しい。

A ぜひ、そのようにしたい。自分で申請することが難しい方は、町の職員が訪問する。

陸別ブランド牛乳の製造

Q ホクレンのタンクローリー以外の牛乳は受け入れられないのか。

A 飲用乳を製造する場合、保健所の指導があり難しい。それ以外の乳製品の製造については、保健所と協議したい。

陸別低温殺菌牛乳の製造・販売が始まります。



地元雇用促進事業

420万円

Q 独自の雇用対策として評価するが、町外から陸別に就職する際の、住宅困窮者への対策が欠けているのでは。

A ご指摘のとおりだが、民間活用住宅建設事業補助金により、以前よりはアパートや住宅の整備が進んでいると考えている。

固定資産税(歳入)

Q 土地に課税する際に、農業委員会の農地基本台帳や産業振興課の航空写真の情報を活用すべきではないか。

A 課題は認識している。現況把握のため農地情報等の活用を図っていきたい。

新たな航空写真の活用については次年度以降検討したい。

通学合宿事業 10万円

Q どのような事業か。

A 小学4年生から6年生のうち、希望者10名で公民館に2泊3日の合宿生活をしながら通学してもらう。

炊事、洗濯、掃除、もらい湯などの生活体験学習、テレビやゲームのない環境を通じて、これまでの生活を見直すきっかけになればと考えている。

本年度は試験的に教育委員会が主催するが、次年度以降は、この事業の趣旨に賛同していただける方たちによる組織に運営してもらいたいと考えている。

意見書案

3月定例会で1件を可決し、関係機関へ、その実現を要請しました。

○TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

補正予算質疑から

除雪ドレーザ購入

△1千023万円

Q 入札の結果による大幅な減額補正であるが、当初見積額を見誤ったのでは。

A 入札予定価格は事前に3社から見積りをとり設定した。結果的に競争が働き、安く納ったと考えている。

平成25年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億2,448万円	44億5,447万円	
特別会計	国保事業勘定	1,212万円	4億6,601万円
	国保直診施設勘定	8万円	4億0,873万円
	簡易水道事業	△266万円	1億6,649万円
	公共下水道事業	△338万円	1億2,530万円
	介護保険事業勘定	△1,221万円	2億5,628万円
	後期高齢者医療	△30万円	3,750万円

新年度予算の主な事業

- **陸別町ホームページのリニューアル 420万円**
[デザイン変更、スマートフォン・タブレット対応、更新作業・手順の見直し]
- **ふるさと銀河線りくべつ鉄道管理事業 1,154万円**
[気動車塗装(1台)、木柵塗装、洗車設備整備、車両整備庫実施設計]
- **ふるさと交流センター(道の駅)改修事業 1,314万円**
[自家発電機設置、非常用照明バッテリー交換]
- **地域おこし協力隊事業 2,711万円**
[6名に増員、新たに新事業支援推進員1名、酪農支援推進員2名、商工支援推進員1名を募集]
- **地元雇用促進事業 420万円**
[町内で正職員(雇用期間の定めなし、労働契約あり、社会保険加入等)を新規に雇用する事業主に対し、給料月額半額(上限7万円、最長12ヵ月)を町が助成する]
- **日産自動車購入助成事業 310万円**
[継続]
- **プレミアム商品券事業 599万円**
[継続、年2回実施、新たにプレミア率20%の券を448セット販売する(所得制限あり)]
- **街路灯改修事業 614万円**
[LED街路灯設置、町道駅前本通り、消防前通り]
- **公営住宅改修事業 1,107万円**
[緑町団地 X・Y棟サッシ等改修/共栄団地 A・B・C棟給湯器更新]
- **水槽付消防ポンプ自動車購入 6,818万円**
[池北三町行政事務組合への負担金]
- **防災対策事業 防災資材購入 131万円**
[毛布50枚、ポータブル石油ストーブ19台、カセット式ガスストーブ20台]
- **給食搬入口改修 保育所299万円/小学校140万円/中学校501万円**
[平成27年4月から使用できるよう、必要な改修を行う]
- **給食センター建設事業 4億3,956万円(嘱託職員(管理栄養士1名)の人件費を含む)**
[延べ床面積605.61㎡、平成27年4月供用開始予定、建設地:新町2区]

一般質問

3月定例会では2人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

本田 学 議員

ふるさと納税の推進を

◎ 地元特産品のプレゼントを行うなど「ふるさと納税」の推進を図っている町村がある。管内の例では、寄付金の約3割が町の手元に残り、少子化対策等に役立てている。経済循環、本町のPRのためにも積極的に行うことはどうか。

(金澤町長)

◎ 現在、町が行っている水や鹿肉、民間で製造している山菜、かぼちゃ、菓子など地元産品の開発が進んできた。宣伝効果も期待できるので陸別らしいものを陸別らしく行う方向で研究したい。



陸別らしい教育に向けて

◎ 新任教員は現行どおり4年間の陸別町での在任期間である。それ以外の教員の在任期間6年が、希望により4年で異動することが可能になったが、どう考えるか。

(野下教育長)

◎ 遠隔地での勤務を希望する教員が少ないこともあり、帯広市からの距離などで区分がある制度改正がされた。私としては、この改正に疑問もあり、6年間勤務してもらいたい。

(教育長)

◎ 転入した教職員に対し、陸別の地域活動を進める機会をもつてはどうか。

◎ 学校長とも相談しながら私自身がそういう場を設けていくことを考えていく。

◎ いじめを発生させないためには、教師力の養成が必要なのではないか。

(教育長)

◎ いじめの把握ができていない実態もあったが、尊敬される先生へ向けたい意識づくりを行い、信頼される学校運営を行ってきたい。

野尻 秀隆 議員

「フードバレーとかち」へ向けて

◎ 帯広市が中心となつて、十勝全域でフードバレーを進めようと推進協議会も設立されたが、これまでの動きと本町の係わりは。

(金澤町長)

◎ この構想は、帯広市長が掲げる旗印であるが、管内全町村が合意し、農林漁業、商工業団体、大

学、研究機関などと共に進めようとしている。

定住自立圏形成協定の事業の中にフードバレーも含まれる。特別交付税の対象となる。現状では、各種スタンプラリーに参加している。

まめ辞典

「フードバレーとかち」とは…

帯広市長が掲げる産業政策のスローガン。オール十勝で、その強みである「食」をキーワードに、農林水産業の振興にとどまらず、食品加工、流通、金融、観光、教育、福祉など、あらゆる分野と連携し、その効果を波及させ、単なる原材料の生産地から脱却し、地域内で経済を循環させ、食（フード）に関する産業の集積地（バレー）を目指している。

一般質問続き

総合特別区域法の施行に伴う町の対応は

◎ 総合特別区域法において、道路運送車両法の一部が改正され、町の関わりもでてくることになると思うが、対応への準備はできているのか。

(町長)

◎ 関係行政機関から具体的な話がない状況であるが、情報を把握し、町民に周知するなどの対応をしていきたい。

アメダスの移設を

◎ 寒さを資源の一部として、気象観測を行っているアメダスを、より気温が低くなる箇所に移設できないか。

(町長)

◎ 気象庁は、データの蓄積を重要視している。しっかりした理由があれば近距離移設を要請したい。

寒さを生かした産業づくりへ

◎ 人口も減少し、産業の育成も必要となっている。寒さを資源を活用した町づくりが必要ではないか。

(町長)

◎ 人口の都市集中が進み、地方は過疎化、少子高齢化社会となっている。町民皆さんの知恵もいただきながら陸別らしいものを生み出していきたい。

◎ また、町民の安全・安心のためにも3千キロワット程度の太陽、水力、バイオなどの再生可能エネルギーによる発電、活用を研究したい。

条例改正案の質疑から

◎ 上下水道関係条例改正案(4件)

◎ 水道使用量が少ない独居高齢者世帯などに配慮し、基本料金の使用水量8立方メートルを見直すべきでは。

◎ 陸別町水道・下水道審議会の答申に基づき、今回は消費税率の引き上げ相当分の料金改定のみ提案した。基本料金の使用水量については、今後の検討課題とする。

議員報酬について

◎ 議員発議により、長期間議員活動が出来ない議員の報酬及び手当を減額するための規定を新設し、必要な条例・規則の改正を行いました。



条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 町道路線の廃止について	決 決 決 決 決 決 決 決
● 町道路線の認定について	可 可 可 可 可 可 可 可
● 北海道市町村退職手当組合理約の変更について	可 可 可 可 可 可 可 可
● 十勝東北部障害程度区分判定審査会共同設置規約の変更について	可 可 可 可 可 可 可 可
● 町税条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町社会教育委員条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町営農用水道施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町専用水道の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町公共下水道条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
以下議員発議	
● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 可 可 可 可 可 可 可
● 陸別町議会会議規則の一部を改正する規則	決 決 決 決 決 決 決 決
● 議員の派遣について (議員研修会(札幌市、鹿追町)、東京陸別会総会、常任委員会合同道外視察)	可 可 可 可 可 可 可 可

総務・産業合同常任委員会報告

1月16日、委員会合同で、北海道電力株式会社帯広支店において視察研修を行い、電気設備の仕組み及び昨年の長時間停電事故の原因等について説明を受けました。

研修でわかったこと

○電線は、発電所から変電所までを繋ぐ「送電線」と、変電所から各家庭までを繋ぐ「配電線」の2つに分けられる。

○送電線は電線がむき出しで高圧のため、倒木が接触、または接近しただけで漏電(停電)する。

○配電線(町中の電線)はゴムで覆われているので樹木が接触した程度では漏電しないが、線が切れたり、被覆のゴムが破けたところ、樹木等が接触すると停電してしまう。

○昨年の長時間停電は留辺蘗、陸別間の送電線に16箇所、町内各所の配電線におよそ176箇所の支障が生じ、復旧までに時間がかかった。

○町内(農村部含む)の配電設備は、必要とされる電力量(概ね500KW)ごとに9つのエリアに分けられている。発電機車が到着し次第、順次各エリアに電気が供給されるが、全道各地から派遣されてくるため、町内のエリアごとに復旧時間に差が出てしまう。

今後の対策は？

○送電線付近の支障木の伐採は、置戸、小利別間の公有林を中心に、順次実施されているとのこと。小利別変電所、陸別変電所間の送電線を2ルート化する構

想も示されました。

また、緊急時に足寄・津別方面から電力を供給するための工事も行われており(上陸別、下陸別地区、トラリ地区、上斗満地区が対象)ある程度の対策がなされるまで発電機車を常時陸別に待機させるとのこと。

○議会からは、送電線だけではなく、日常の配電線の管理にも力を入れてほしいと要望しました。

1月20日、委員会合同で視察を行い、陸別町商工会に赴き、主に商店街の活性化について意見を交換しました。商工会からは、薬局の誘致を核にした総合施設を建設する構想が示されました。

今後、引きつづき調査・研究することにしていきます。

議会の動き

1月

16日 総務・産業合同常任委員会所管事務調査(ほくでん帯広支店視察研修)

20日 総務・産業合同常任委員会所管事務調査(陸別町商工会との懇談会)

2月

10日 議員協議会

21日 議会運営委員会

議員協議会

3月

7日 議会運営委員会

11日 3月定例会

議員協議会
総務常任委員会
産業常任委員会
総務・産業合同常任委員会

12日 3月定例会

13日 3月定例会

議員協議会

17日 3月定例会

議会運営委員会

28日 議会運営委員会

総務常任委員会所管事務調査(消防の広域化について)

次回の定例会は6月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

皆様の声を聴こう!
請願(陳情)は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町ホームページ】

<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>